

県立図書館の誘致は、市民会館を解体せず、市の空き地の有効活用を乳幼児医療制度は県内の他市町と同様に現物給付にするべき

田中秀和議員

(1) 県立図書館の誘致のため
の候補地として、体育館跡地と警察署跡地周辺をあげているが、警察署跡地周辺になる場合、本当に市民会館を建て替えてまで誘致を行うことに、市民の合意がなされていると考えているのか。新幹線駅周辺の県有地などは県内からのアクセスも良いし、県の各種研究機関からも近い。誘致推進懇話会では、二つの候補地以外の提案はなかった

のか。

(2) 福祉行政について
新たな知事が誕生し、乳幼児医療の現物支給が積極的に導入される。既に長崎市では導入済みで、佐世保市、諫早市がこの10月から、大村市以外の県内全市町が来年度からの導入予定となっている。福祉医療、子育て支援が最も進んでいるはずだった大村市だけが取り残されてしまった状況だが、このことに対しての見解は？

市長(1) 大村市の有力候補地としては、この2カ所以外になかった。そして、懇話会の中でも、この2カ所について意見が分かれ、併記しての答申だった。県立図書館整備検討会議ではまだ白紙であり、予測は非常に難しいが、決して駅前周辺が有力であるとは言えない。また、可能性の問題であるが、県が市民会館も含めて具体的に言ってきたときのことを想定した場合に、市民会館の解体も

やむを得ないという今の構えである。市としては当然、市民会館を解体するのは避けたいし、今のままで行くのが一番助かる。全体で1万㎡というのがめどであるが、駅前周辺と言われた場合、極力警察署跡地の約4、500㎡でいけるように持っていきたいし、あるいは高層化するなど、いろんな考え方があって思う。それはその時点での県との協議であり、交渉しなければならぬと思っ

福祉保健部長(2)

大村市の代理申請制度は、財政面でのコスト削減を図るとともに、受給者の利便性や事務の効率性を確保する観点から、現時点では比較的バランスのとれた方式であると考えている。乳幼児医療費の現物給付は、福祉医療制度とか子育て支援の一つの方策として意義があるものと考えているが、本市が代理申請の継続を考えていることをもって、単に大村市だけが取り残されたとは考えていない。

伊川議員

(1) こころはぐくむ絵本事業(ブックスタート)は、赤ちゃんへのアルバムのプレゼントに変えて、平成14年度から始まったが、最近度々廃止を含めた見直しを検討されている。絵本を介して子育ての不安をなくし、子育ての喜びと生きがい感を体感してもらう目的でボランティアの協力を得て行われているこの事業は、言葉

「ブックスタート」事業の目的を再確認して！

(2) 学校給食センター建設について本市独自の構想があるか。また、設計に関して、現場で働いている調理員や栄養士などの視点、意見や要望を十分に取り入れて設計に反映することが重要と考えるが、どのように取り組まれるのか。

高まっているが、今後センターができて、地元産品の積極的な活用を図りたいと思っている。

設計にあたっては、専門的な知識とともに、調理員や栄養士の業務内容、使用している設備や道具、最近の献立の動向、衛生管理や作業効率、食育を取り巻く社会背景など、できるだけ多くの情報を出し合い、打ち合わせを行うことが重要だと考えている。特に食品の流れや作業の動線は大変重要になるので、設計段階で調理員や栄養教諭、学校栄養職員の考えも聞きながら取り組んでいきたいと考えている。現在、建築技師をはじめとして施設の視察に行っているが、今後も情報収集を図っていききたい。

その他の質問事項

・市制70周年に向けて新たな市章の検討を
・第3期の中山間地域等直接支払制度の周知



警察署跡地周辺

市長(1) 生後早い時期から絵本の読み聞かせを始めることは、健全な親子関係をづくり出すことのほか、最近、子供たちの読書離れが心配されている中、子供たちの読書の習慣づけに大きな効果があると期待をされている。そういうことから、市が取り組む子育て支援策の中でも、絵本の読み聞かせは極めて重要な取り組みとして、今後も積極的に推進したいと考えており、来年度もブックスタート事業は継続したいと考えている。

教育次長(2) 給食センターについては、学校衛生管理基準や大量調理施設衛生管理マニュアルに沿った安全・安心の学校給食を提供することが第一であり、食品の流れや作業動線を重視する必要があると考えている。市独自のものとしては、これまでになかった食物アレルギー対応ができる施設整備や、炊飯機能が整った設備の導入をしたいと思います。また、地産地消については、現在も地元産を優先的に使用しており、その利用率は年々

その他の質問事項

・期日前投票が増えた。投票所の閉鎖時刻を繰り上げ、開票作業を早めることへの考えは

・農作業中の事故防止対策
・観光案内所の現状とあり方